

キャラクター名
サントネロ・R・ヴァレンティノ(Santonero Riccardo Valentino)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ プラム=ストーカー	ワークス	ギャングリーダーD	カヴァー	ホスト
オプション		年齢	28	性別	男性
覚醒	探求	衝動	吸血	初期侵食率	36%
出自	犯罪者の子	経験	出世	邂逅	(・ω・) <オラウカ> サイゴゴ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1		0			1	行動値	22
感覚	5		0		5	10	(非装備時)	22
精神	2		0			2	戦闘移動	27
社会	0	1	0			1	全力移動	54

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	8		射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚	5		意志	1		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
[武器] 赫き剣+破壊の血	白兵	1r+8	5	消費HP+8+Lv*3		エフェクト《赫き剣+破壊の血》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
[ユニーク] デモンスード:破壊の血	
[ユニーク] リーサルシャイン	
[ユニーク] インフィニティコロナ	
[エンブレム] ブラック・スワズ最高幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[Dロイス] 実験体(ロストナバー)	P	N		
×【父親】 末端の下っ端	P 執着	N 嫌悪		
×【部下】	P 有為	N 無関心		
[ブラックスワズ幹部] 大城 律別(おあしり)りつき	P 有為	N 隔意		
[元・伝説の男] 弥生 恭介(やよい きょうすけ)	P 感服	N 脅威		
[神話生物] 仔深沼(こみぬま)	P 好奇心	N 脅威		
[敵] 萩尾 老三(はざお ろうざん)	P 懐旧	N 敵愾心		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
赫き剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン間: HP[Lv*2以下任意]消費: 作成装備『武器《赫き剣》』								
破壊の血	6	2+1	マイナー	至近	自身	自動	リミット(赫き剣)	
効果: 《赫き剣》組合限定: HP消費[2]: 武器《赫き剣》効果追加『攻撃力+[Lv*3]、ガード値+[5]』								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン[Lv]: 封鎖無視・接触無視・離脱可能な戦闘移動								
光の舞踏	1	2	メジャー	武器	-	-	-	
効果: 変更『判定<感覚>』								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 判定クリティカル値-[Lv:下限値7]								
水晶の眼	1	1	メジャー	-	-	-	-	
効果: 判定ダイス+[Lv]								
裸の王様	1	-	常時	効果参照	効果参照	自動	-	
効果: エキストラ扱いの従者[Lv*10]								
七色の直感	1	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 五感認識関連付けし感情や体調をオーラのように読み取る、対象隠蔽時は対象『対決判定<意志>』								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ギャング団『ブラック・スワズ』が経営しているホストクラブで働いているオーヴァードの男性。一見すると、端正な顔立ちと軽快な態度、甘い言葉を囁いて女性を魅了するイタリアンなホスト。その実態は他人を利用物としか考えていない悪党。ナンパした女も道具としか見ていない狡猾さ。一方で“仲間”認定した相手には義理堅い。ただし協力者は協力関係なだけで“仲間”ではない。日本に来た際、当初は関西で活動していたため中途半端な関西弁で話す癖がついてしまっている。本人もエセ関西弁であることは自覚しているが直す気もなく、一つのネタとしてつかっている程。なおホストで働いているのは道具(女)を探すついでに酒を飲むためであり、金銭的不自由はない。

正体は犯罪組織『メギド』イタリア支部の構成員でブラック・スワズとの仲介役を担っている。当時メギド末端構成員である父と、その愛人との間に生まれた妻の子がサントネロ・リカルド。父親からは虐待され続け、母親も酔った父に殺されたことから10歳の頃に父親を自分の手で殺害。事態を知った犯罪組織『メギド』に拾われ末端構成員として色んな犯罪に手を染めていくことに。そしてイタリア支部の幹部となり日本支部設立のためにブラック・スワズを利用しようとする。現在ブラック・スワズ内では最高幹部と同格の権限を持つ仲介役として“互いに利用”しあう。